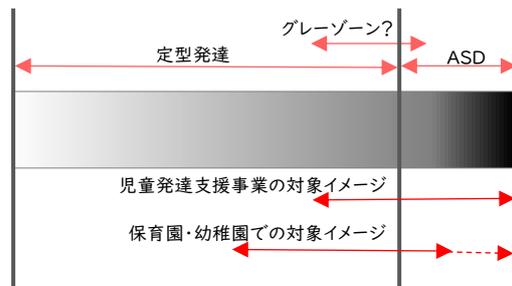


【研修報告】 B-34 障害児通所支援事業所における発達障害児支援（講師：宮野伸枝）

報告日：令和 5年 9月 14日(木)

◆障害児通所支援の対象イメージ

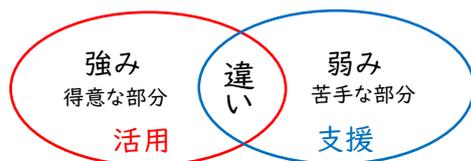
・ASD一定型発達のスペクトラムと障害児通所支援の対象イメージ



・自閉スペクトラム症



個別のアセスメントに基づく個別化された指導や支援が必要（オーダーメイド）



◆ASD は脳の情報処理障害

- ・情報をキャッチする（耳から、目から、鼻から、口から、皮膚からの情報）
- ・情報を発信する（話す、移動する、手で持つ、食べる等）
- 情報のキャッチと発信に一般的な人との違いを持つ

◆将来の自立を目指して・・・

- ・指示待ちではなく、自分で「気づき」「始めて」「行動して」「終わり」「進める」+修正、変更にも対応

◆構造化・支援に関する計画

物理的構造化	目の前の活動に集中するために
スケジュール	いつ・どこで・何をするのかを伝える
ワークシステム	何を・どのくらい・いつ終わるのか・終わったら何があるのか
視覚的構造化 ・視覚的指示 ・視覚的整理統合 ・視覚的明瞭化	見える形で分かりやすくする！ → 流れ・方法を視覚的に提示する → 材料と空間を視覚的に整理する → 材料と指示をより明瞭にする
ルーティン	習慣化して教える